

平成 27 年 5 月 3 日

平成 27 年度  
浜松工業会

# 浜松支部総会

平成 27 年 5 月 16 日 (土)

---

総 会 : 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 会議室  
記念講演会 : 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 会議室  
H P 紹 介 : 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 会議室  
懇親パーティー : 静岡大学浜松キャンパス 南会館(生協)

浜松工業会 浜松支部

## 浜松支部総会 行事一覧

日	時	平成 27 年 5 月 16 日 (土曜日)		
開	場	14:40		
※ 浜松工業会の本部総会開催ため、浜松支部関係者はこれより前の入室はご遠慮ください。				
総	会	14:50～15:50	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
記念講演会		16:00～17:40	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
H P 紹介		17:40～18:00	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
懇親パーティー		18:10～20:00	静岡大学浜松キャンパス	南会館(生協)

### 総会次第

14:50～15:50

佐鳴会館 会議室

- |    |                |                 |            |
|----|----------------|-----------------|------------|
| 1. | 開会の辞           |                 | 佐藤 徹也      |
| 2. | 支部長挨拶          |                 | 鈴木 由則      |
| 3. | 来賓挨拶           |                 |            |
|    | 浜松工業会会長        |                 | 中村 保 様     |
|    | 静岡大学大学院工学研究科長  |                 | 佐古 猛 様     |
|    | 静岡大学大学院情報学研究科長 |                 | 酒井 三四郎 様   |
|    | 静岡大学電子工学研究所長   |                 | 三村 秀典 様    |
| 4. | 議事             | 議長              | 鈴木 由則      |
|    | 第 1 号議案        | 平成 2 6 年度事業報告   | 仁科 善雄      |
|    | 第 2 号議案        | 平成 2 6 年度収支決算報告 | 川合 栄一      |
|    |                | 同監査報告           | 西尾 國夫、浅井 仁 |
|    | 第 3 号議案        | 平成 2 7 年度事業計画   | 仁科 善雄      |
|    | 第 4 号議案        | 平成 2 7 年度予算     | 川合 栄一      |
|    | 第 5 号議案        | 役員交代について        | 鈴木 由則      |
| 5. | 新支部長・副支部長紹介    |                 | 佐藤 徹也      |
| 6. | 新支部長、副支部長挨拶    |                 |            |
| 7. | 閉会の辞           |                 | 佐藤 徹也      |

## 第 1 号議案 平成 26 年度 事業報告

スローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」の下に、「平成 26 年度浜松支部総会への若い世代の参加者の倍増」、「H26 年度浜松支部の単年度会計収支の黒字定着」に加え、「会員の相互交流」に取組み、概ね目標を達成しました。

### 1. 総務委員会

佐藤総務委員長

- ① 諸会議 会議の開催時間、配布資料、議事進行を工夫し、役員が参加しやすい会議にしました。
- 役員会 資料の小冊子化、審議事項の明確化等を図り、第 1 回は目標の 50 名に対し、71 名の参加を得ました。第 2 回は午後からの交流会にも参加し易い環境を準備し、44 名の参加を得ました。
- 委員会 常任幹事・企業幹事から人員を募ったことで、活動が実体化し、幅も広がりました。
- 顧問会議 年度初めの 4 月に開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)、浜松支部会則の改正、役員交代、支部総会来賓招待者の人選などに就き、指導と助言を頂きました。
- 正副支部長会 役員会、顧問会議の準備の他、会員交流を図る活動の準備等で合計年 20 回開催しました。
- ② 渉外 支部間交流の為、正副支部長が東京・静岡・愛知・阪奈和支部総会に参加しました。
- ③ U T 相談室 登録企業の 5 社増目標に対し、2 社増。単年度収支は赤字を脱し、新 HP を創設しました。
- ④ 結婚相談室 一組の成立が得られ、担当委員と情報学部生の協力の下、若い世代の相談に取り組みました。
- ⑤ 趣味の会 4 団体各々が活発な活動が行われましたが、新団体の設立には至りませんでした。
- ⑥ (公財)浜松科学技術研究振興会 大学と地域社会の交流を促すために、4 支部の講演会を支援しました。
- ⑦ 浜松支部総会 総会を平成 26 年 5 月 17 日(土)に母校の浜松キャンパスで開催しました。

### 2. 組織委員会

仁科組織委員長

- ① 名簿メンテナンス 企業退職者情報を入手し、企業会員から個人会員へ移行し名簿メンテナンスを行いました。これにより多くの会員に支部からの情報を届けることができました。
- ② 組織強化 会員数10名以上在籍の主要53社の中で、支部活動参加は今年の30社から33社に増加しましたが、80%目標には未達でした。学年幹事は総会、ホームカミングで調整しましたが、未選出でした。
- ③ 会報 Technopia の配布 全体配布会を止め、役員、企業幹事の協力で第66号、第67号を5,000部配布しました。
- ④ 懇親パーティー券の販売 企業幹事には各企業の会員数の1割の数を、支部役員および会費支払い実績のある個人会員には各1枚を配布し、目標の230枚に対して225枚販売しました。
- ⑤ 執行役員選考委員会 会員の中から支部長および副支部長 1 名の候補者を選出しました。

### 3. 事業委員会

小栗事業委員長

- ① 支部総会講演会 (株)都田建設 蓬台社長を迎え、テーマ「マネジメントの実践『社風力』が文明をつくる」で講演会を開きました。仕事の意味を考える機会となり大きな感動を呼ぶことができました。
- ② 支部総会懇親パーティー 会場をホテルから母校に変えて開催しました。参加費を下げ、かつ 20 歳代を無料招待するも参加者数は目標 230 名に対し 188 名でした。20 歳代も 20 名ほどでした。
- ③ 佐鳴湖駅伝大会 浜松支部から「スズキ」「ヤマハ発動機」「支部混成チーム」が参加しました。支部混成チームは人数が不足し 1 人で 2 区間走るところもありましたが、目標の 3 チーム参加を達成しました。
- ④ 交流会 11 月の第 2 回役員会と同日に開催しました。UT 相談室、結婚相談室からの参加もあり、参加者総数は今年の 26 名から 46 名に増加しました。
- ⑤ 佐鳴会全国ゴルフ大会 浜松支部が幹事となり豊岡国際カントリーで開催しました。目標の 100 名には届かず 71 名の参加となりましたが、天候に恵まれ成功裏に終わりました。
- ⑥ 役員新年会 参加者は今年の 34 名から 52 名に増加しました。弦楽四重奏を取り入れたことで華やかな宴になり、会員同士の親睦が深まりました。

### 4. 広報委員会

芥川広報委員長

- ① 浜松支部 Web 事業 5/18(月)にホームページ(以下HPと略記)を公開し、会員への記事投稿に開放して各種最新情報を発信すると共に、UT相談室・結婚相談室の新HP作成に取り組みました。また、会員向け説明会を開催し、Web会員として114名の登録を行いました。
- ② 会報 Technopia 発行 電子体として発行し、冊子体はダイジェスト版フルカラー12ページとしてデザインを刷新、見やすさを追求して第66号、第67号をB5サイズで5,000部発行しました。また、記事は支部役員で編集を行い、支部の方針を表現しました。
- ③ 広告掲載 Technopia の電子体発行への移行に伴い、以前からの広告主 30 社を対象にHP上のバナー広告への移行をお願いしましたが、継続の申込みは 11 社に留まりました。

### 5. 会費委員会

川合会費委員長

- ① 収入管理 会費、懇親パーティー券の前受け分を明確にし、H26年度収支決算報告書に金額を記載しました。
- ② 会費徴収 個人会員分は、新たに60歳代(企業会員→個人会員に移行)および50歳代の会費未納入者に対し会費納入依頼を約500通送付しましたが、150,500円の減少(前年度比-24.1%)となりました。また、企業会員分は、26,000円の減少(前年度比-1.7%)となりました。
- ③ 事業別予算 事業委員会が執行した支部総会について、収支均衡を達成し、全体でも単年度会計収支の黒字化(約85万円)を維持しました。

## 第 2 号議案 平成 26 年度 収支決算報告 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

平成 27 年 3 月 31 日現在

●収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
支部年会費	2,296,500	2,009,000	-287,500	1,500 円×1,393 人
支部交付金	1,050,000	1,051,000	1,000	協賛金 (浜松工業会・浜松科学技術研究振興会) 他
パーティー券	1,150,000	1,092,000	-58,000	5,000 円×210 人+3,000 円×14 人
会報広告代	300,000	329,244	29,244	掲載企業数：15 社
預金利子他	200	106	-94	普通預金、郵便普通貯金
交流会会費	400,000	475,000	75,000	合同委員会、交流会、新年会会費
雑収入	0	0	0	
小計	5,196,700	4,956,350	-240,350	
前年度繰越金	3,819,212	3,819,212	0	
合計	9,015,912	8,775,562	-240,350	

(支部年会費決算額には、H25 年度以前分 9,000 円、H27 年度以降分 339,000 円を含む)

(パーティー券決算額には、H27 年度分 245,000 円を含む)

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
総会費	1,300,000	1,297,893	-2,107	総会・パーティー・記念講演・他
テラピア関係費	860,000	554,490	-305,510	第 66、67 号の編集、印刷、運送
HP 関係費	500,000	422,679	-77,321	HP 制作、サーバレンタル、管理用 PC・他
委員会活動費	300,000	361,715	61,715	各委員会の会議費・趣味の会補助・他
会議費	400,000	361,094	-38,906	役員会・正副支部長会・顧問会議
交流会費用	450,000	713,106	263,106	合同委員会、交流会、新年会
通信費	200,000	17,990	-182,010	会費納入依頼文の印刷、各種連絡
旅費・交通費	120,000	72,600	-47,400	他支部総会出席
慶弔費	40,000	10,000	-30,000	慶弔規定による支出
払込手数料	50,000	26,114	-23,886	郵便振替料・送金手数料
雑費	100,000	268,926	168,926	佐鳴掲載料、駅伝大会賞金・PC 代
予備費	30,000	0	-30,000	
小計	4,350,000	4,106,607	-243,393	
次年度繰越金	4,665,912	4,668,955	3,043	
合計	9,015,912	8,775,562	-240,350	

## 財産目録

普通預金	静岡銀行	1,139,399
郵便振替口座	郵便局名古屋	1,337,554
郵便定期貯金	三方原郵便局	2,000,000
郵便普通貯金	三方原郵便局	106,018
現金		85,984
合計		4,668,955

上記の通りご報告致します。

副支部長 会費委員長 川合 栄一 ㊟

平成 26 年度収支決算につき、関係書類について、監査を行ったところ、

いずれも正確であったことを証明します。

平成 27 年 4 月 10 日

監事 西尾 國夫 ㊟

監事 浅井 仁 ㊟

## 第 3 号議案 平成 27 年度 事業計画 (案)

引き続き同じスローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」を深化させます。  
「より広い世代間の交流」、「会員・在学生への活動周知と参加機会の提供」を支援・促進します。

## 1. 総務委員会

佐藤総務委員長

活動方針 浜松支部の諸活動に、役員および会員が気軽に参加して協力できる環境を、さらに整えます。

- ① 諸会議 幅広い世代の役員が関心を持ち、積極的に参加したくなるような環境を準備します。
- 役員会 前年度結果と次年度計画に係り年度初めの春に 1 回開催し、中間報告に係り秋に 1 回開催します。特に春の役員会では、60 名以上の参加を目指します。
- 委員会 協力者をさらに募り、現役学生も含めた活動で、実体化を進めます。
- 顧問会議 年度初めに開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)、浜松支部会則の改正、役員交代、支部総会来賓招待者の人選などについて、指導と助言を頂きます。
- 正副支部長会 役員会と顧問会議の準備に年 3 回、その他は適宜開催します。
- ② 渉外 他支部（静岡・愛知・東京・阪奈和）総会へ参加し、情報交換します。
- ③ U T 相談室 新規登録企業 5 社増を目標に、新HPで広報活動を充実化し、企業との情報交換もよりし易く改善します。
- ④ 結婚相談室 ニューカップルの誕生を目指します。また、若い世代の結婚相談にも取り組みます。
- ⑤ 趣味の会 既存の趣味の会の活動を支援し、新たな会の設立を目指します。
- ⑥ (公財)浜松科学技術研究振興会 財団の運営に協力します。
- ⑦ 浜松支部総会 総会を平成 27 年 5 月 16 日(土)に母校の浜松キャンパスで開催します。

## 2. 組織委員会

仁科組織委員長

活動方針 企業幹事および卒業年度毎の幹事の活動を活性化して、浜松支部の組織を強化します。

- ① 名簿メンテナンス 企業会員の退職情報を引き続き入手し、企業会員から個人会員へ移行など、名簿情報を確かなものにします。
- ② 組織強化 会員数8名以上在籍の主要企業56社の中で、支部活動参加企業数は現状の35社から45社を目指します。
- ③ 会報Technopiaの配布 企業幹事の支部活動参加の機会として、第68号、第69号は全体配布会を実施します。
- ④ 懇親パーティー券の販売 前年度同様の配布に加え、支部役員から関係団体に配布し、販売目標は240枚とします。
- ⑤ 改選役員の候補者選出 正副支部長からなる選考委員会を開き、会員の中から改選役員の候補者を選出します。

## 3. 事業委員会

小栗事業委員長

活動方針 大学、企業、同窓生の絆を深める仕掛けを考案し、各事業への参加者増加と活性化に向けたネットワーク作りを引き続き目指します。また産学連携に結びつく事業を企画します。

- ① 支部総会講演会 工学部卒業生の前田洋一氏を講師に迎え、電気通信に関する国際標準化の活動を通じて得られた四半世紀の体験をもとに、「標準化」の意義や最新トピックなどについてご講演いただきます。
- ② 支部総会パーティー 前年度に引き続き浜松キャンパスで開催し、参加費を 5,000 円に、20 歳代を無料で招待し、240 名以上の参加を目指します。20 歳代は 50 名の参加を目指します。
- ③ 佐鳴湖駅伝大会 浜松支部から 3 チーム (69 名) 以上の参加を目指します。
- ④ 交流会 テクノフェスタ初日の 11 月 7 日に、ホームカミングデーおよび周年同窓会と連携して開催し、大学と同窓生の交流を深めます。
- ⑤ 支部新年会 1 月に開催し、会員の親睦を深めます。60 名の参加を目指します。

## 4. 広報委員会

芥川広報委員長

活動方針 HPを浜松支部の情報発信および情報交流の中心に据え、Webの活用を推し進めます。

- ① 浜松支部 Web 事業 Web 会員および投稿件数の増加のため、新規アカウント登録方法や投稿方法を対話形式で行なえるように改善するとともに、U T 相談室・結婚相談室の両ホームページの一般公開を行います。
- ② 会報 Technopia 発行 浜松支部の定期情報発信ツールとして第 68 号、第 69 号を発行します。また、HP への誘導を行いアクセス数の倍増を目指します。
- ③ 広告掲載 契約の継続、及び新規獲得を目指し、掲載広告主を 15 社とします。

## 5. 会費委員会

川合会費委員長

活動方針 会費収入の増加を推進し、会計収支を適正に処理、報告します。

- ① 会費徴収 前年度の会費納入実体調査(個人会員の年代別納入率、企業会員の在籍人員数に対する納入人員数など)を行い、調査に基づく会費納入額増加対策を立案し、会費収入の5%増加を目指します。また、高齢者会員に対し、会費の免除を検討します。
- ② 会計会務 収支予算および各委員会の事業計画に準拠して、定期的に収支予測を行い、収入および支出を項目毎に厳密に検証、管理を行います。

## 第 4 号議案 平成 27 年度 予算 (案) (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## ●収入の部

(単位:円)

項 目	昨年度実績	予算額	増減	説 明
支部年会費	2,009,000	2,110,500	101,500	1,500 円×1,407 人
支部交付金	1,051,000	1,035,000	-16,000	協賛金 (浜松工業会・浜松科学技術研究振興会) 他
パーティー券	1,092,000	1,200,000	108,000	5,000 円×240 枚
会報広告代	329,244	250,000	-79,244	HP 掲載広告料
預金利子他	106	100	-6	普通預金、郵便普通貯金
交流会会費	475,000	350,000	-125,000	新年会会費
雑収入	0	0	0	
小計	4,956,350	4,945,600	-10,750	
前年度繰越金	3,819,212	4,668,955	849,743	
合計	8,775,562	9,614,555	838,993	

## ●支出の部

(単位:円)

項 目	昨年度実績	予算額	増減	説 明
総会費	1,297,893	1,560,000	262,107	総会・パーティー・記念講演・他
クラブ関係費	554,490	590,000	35,510	第 68、69 号 (ダイジェスト版) の編集、印刷、運送
HP 関係費	422,679	400,000	-22,679	HP 制作、サーバレンタル、管理用 PC・他
委員会活動費	361,715	380,000	18,285	各委員会の会議費・趣味の会補助・他
会議費	361,094	330,000	-31,094	役員会・正副支部長会・顧問会議
交流会費用	713,106	610,000	-103,106	新年会他
通信費	17,990	20,000	2,010	総務関係、会費納入依頼連絡の印刷、運送
旅費・交通費	72,600	80,000	7,400	他支部総会出席・他
慶弔費	10,000	10,000	0	慶弔規定による・他
振込手数料	26,114	30,000	3,886	郵便振替料・送金手数料
雑費	268,926	120,000	-148,926	佐鳴掲載料・佐鳴駅伝賞金他
備品購入費	0	180,000	180,000	プロジェクタ、パソコン代
予備費	0	30,000	30,000	調整費
小計	4,106,607	4,340,000	233,393	
次年度繰越金	4,668,955	5,274,555	605,600	
合計	8,775,562	9,614,555	838,993	

\* 各科目間の流用は認めさせていただきます。

## 第 5 号議案 役員交代について

	旧役員	新役員
支部長	鈴木 由則 (49K) ヤマハ発動機 (株) OB	井辺 博光 (49C/51MC) 井辺技術士事務所
副支部長 組織委員長	仁科 善雄 (56M) (株) エフ・シー・シー	赤堀 伸二 (58D) 浜松ホトニクス (株)

## 平成 27 年度浜松支部役員

	平成27年度役員
支部長	井辺 博光 (49C/51MC) 井辺技術士事務所
副支部長 総務委員長	佐藤 徹也 (61M) (株) ユニバンス
副支部長 組織委員長	赤堀 伸二 (58D) 浜松ホトニクス (株)
副支部長 事業委員長	小栗 成哲 (53D/55MD) ヤマハ (株)
副支部長 広報委員長	芥川 豊秋 (57JJ) 磐田市役所
副支部長 会費委員長	川合 栄一 (59M) アスモ (株)

## 記念講演会

16:00～17:40

佐鳴会館 会議室

---

**演 題：** 国際標準化は日本の力となるか？

**講演者：** 前田洋一氏 一般社団法人 情報通信技術委員会 代表理事専務理事

**要 旨：** 通信関係の研究開発に従事しながら、国際連合の電気通信に関する国際標準化の活動を通じて得られた四半世紀の体験をもとに、「標準化」とは？「標準化」の意義、日本の産業にとっての「標準化」の活用、「標準化」における最新トピックなどについて、私見を述べたいと思います。

**略 歴：**

昭和 55 年 3 月	静岡大学 大学院工学研究科修士修了
昭和 55 年 4 月	日本電信電話公社（現 NTT）電気通信研究所 入社
昭和 63 年 4 月	英国電気通信研究所（BT）交換研究員留学（1 年間）
平成 13 年 1 月	国際電気通信連合 ITU-T SG13 副議長（任期 4 年間）
平成 17 年 1 月	国際電気通信連合 ITU-T SG15 議長（任期 8 年間）
平成 18 年 4 月	NTT アドバンステクノロジー株式会社
平成 22 年 10 月	社団法人 情報通信技術委員会（TTC）専務理事
平成 25 年 1 月	国際電気通信連合 ITU-T Review Committee 議長（任期 4 年間）
平成 26 年 8 月	アジア太平洋電気通信共同体 ASTAP（Asia Pacific Telecommunity Standardization Program）議長（任期 2 年間）
現職	一般社団法人 情報通信技術委員会 代表理事専務理事

## 浜松支部からのお知らせ - 新HP紹介

17:40～18:00

佐鳴会館 会議室



### 浜松工業会浜松支部 ホームページ開設のお知らせ



同窓生の双方向の情報交流を推進します

会員の皆さま、こんにちは！  
浜松支部では昨年より交流の場として支部独自のホームページを開設しています。  
ぜひ一度、浜松支部のホームページにアクセスしてみてください。

**浜松工業会浜松支部 公式ホームページ**  
**<http://sanaruhama.org/>**

会員以外の方でも、見ていただけるようになっていますが アカウントを登録していただくことで、皆様に投稿をしていただけます。さらに充実していきたいと思っておりますので、是非アカウント登録をお願いいたします。

**登録は、ログインフォームの「アカウント作成」においてできます。**

できるだけ多くの情報をお届けできるようにしたいと考えておりますので、開設の趣旨をご理解のうえ、皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

**浜松工業会 浜松支部**  
HAMAMATSU KIGYO KAIGAI HIRAKATSU BUNBU

ホーム 行事 注冊 人材 経理 課社 会報 設備



[www.pcc-hk.jp/](http://www.pcc-hk.jp/)

所在地: ホーム

#### 次部長挨拶

掲載日: 2015年12月20日 0:00 17:46  
公開日: 2015年12月20日

平成27年度に向けて  
**「家めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」を強化させよう。**

支部長として3回目の新年を迎えました。  
一昨年末の高齢交代以降大幅な円安が定着し、やっとならでもものづくりの国内  
市場が縮まりました。但しこれも日本国内を主要市場とする商品に陥る業界です。  
日々技術者が考え得るべきは、ますます少子高齢化する日本社会で興っていただけ、且  
つ海外市場でも高い競争力のある商品を生み出すことだと改めて考えます。現役世代  
の皆さんは如何お考えでしょうか。

さて、「同窓生の絆を深め、母校への関心を強める」のスローガンも3年目で定  
着してきました。浜松支部の活動も各委員会を中心に、ホームページの制作・運営等  
を通して同窓の学生さんの参加も得て一段と活性化し、支部会員の皆様に関わっていただけたらと思  
がっていました。そのする浜松支部としての活動目標を具体化する時期と想います。今年5月の支部  
総会には是非ご意見をすることでもさらに進めたいと考えています。

新井 忠雄



**ログインフォーム**

ユーザ名

パスワード

新規ログイン

アカウントの作成  
ユーザ名を忘れましたか？  
パスワードを忘れましたか？

8

## 懇親パーティー

18:10~20:00

南会館 (生協)

# 懇親パーティーへようこそ!

**お楽しみ盛りだくさん  
浜松キャンパス生協食堂が会場です!**

**20歳代無料!**

●私たちの母校を覗いてみませんか!



●懐かしい生協で楽しいひと時を  
過ごしませんか!



### 「名刺交換のチャンスを作ります」

積極的な名刺交換をしてください。

### 「世代間を越えた交流のチャンスを作ります」

多くの参加者と会話を楽しんでください。

### 「大学の近況、変わりゆくキャンパスの情報などが聞けます」

### 「情報交換ができます」

- ・講演会講師との交流
- ・若い世代とシニア世代の交流
- ・同世代間の交流
- ・大学の先生や就職担当教官との交流
- ・企業間の交流
- ・UT相談委員との交流

### 「趣味の会の皆さんからの PR タイムを設けます」

ゴルフ会、テニス会、囲碁、将棋、音楽、武道、マラソン、レディスサークルなど、共通する趣味をお持ちの皆さんで集ってください。

### 「趣味の会設立に協力します」

趣味の会を設立したい方を募集します。

### 「プレゼントコーナーを設けます」

抽選でプレゼントが当たります。

### 「佐鳴グリークラブの皆さんが合唱を披露します」

是非お楽しみに!

# 浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

## 浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

詞／相川 覚  
曲／遠藤 節子

あ つ き のぞみ に こ の む ね -- を そ め  
 (2. う た げ の き -- け に こ ふ と う か -- ぶ せ ん  
 し か に は ぎ は ら し ひ く -- ま の ら の  
 へ い せ い の -- み よ あ き た け て も か が や く れ き し  
 か -- お り ほ の か に ゆ き し と も の こ る お も か け  
 た た え ん と つ ど い て い -- わ え と も よ と も )  
 し み じ み と つ ど い て し -- の べ と も よ と も )

### 「友よ友」

作詞 相川 覚  
作曲 遠藤 節子

一、あつき望みに この胸を  
 そのしはぎはら ひくまの  
 平成のみよ 秋たけて  
 かがやく歴史 たたえんと  
 つどいて祝え 友よ友

二、うたげの酒に ふと浮かぶ  
 戦火にちりし 白ばらの  
 かおりほのかに 遊し友  
 残るおもかげ しみじみと  
 つどいてしのべ 友よ友

三、さなる まいさか がんすいじ  
 汗と涙を 流しつつ  
 肩くみ合いて 舞い踊る  
 若き息吹の なつかしく  
 つどいて歌え 友よ友

四、時の流れに 名もかわる  
 されど心の ふるさとは  
 自由 啓発 創造の  
 とわに変わらぬ 我が母校  
 つどいて誇れ 友よ友

